

陳 情 文 書 表

令和 8 年 9 月 4 日 提出

受 付 番 号	陳情第 5 号
受 付 年 月 日	令和 8 年 6 月 1 9 日
陳 情 件 名	奥山再生に関する陳情
陳 情 者 住 所	鎌倉市山崎
陳 情 者 氏 名	角田 晶生
陳 情 の 要 旨	【陳情の趣旨】 1 伊勢原市内の針葉樹を広葉樹に植え替え、奥山再生を推進していただきたい。 2 当該事業に有効な条例を制定、または既存条例を有効に改定していただきたい。 3 当該事業に必要な予算を計上していただきたい。 ※ 奥山とは人間の日常活動圏外にある山林地域を指す。 ※ 再生とは生物多様性が保全された状態に戻す行為を指す。 【陳情の理由】 伊勢原市をはじめ神奈川県西部に広がる針葉樹林は、戦後の拡大造林政策に伴って植生されてきた。しかし、それが様々な弊害を引き起こしていることは否めない。 1 保水力不足による水源確保の不安定化 2 地盤保持力不足による洪水や山崩れ、土砂災害リスクの増加 3 食糧不足による野生鳥獣の出没被害増大 4 日光遮断による生態系の発育不足、不健全化 5 膨大な花粉の飛散による健康被害（花粉症）の慢性化 これらの弊害を解消する手段として、既存の針葉樹を広葉樹に植え替えることが有効と考え、今回陳情した次第である。 是非とも、採択に向けた審査をお願いしたい。 令和 8 年 6 月 1 9 日 伊勢原市議会議長 大垣 真一 殿

やまびこの会

代表 角田 晶生 印